

2012年3月22日

お客様各位

東京計器株式会社
第1制御事業部
品質保証部**うるう秒調整に伴う弊社製 船舶自動識別装置(AIS)への影響について**

拝啓 平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
2012年7月1日(日)に3年半ぶりとなる「うるう秒」の調整が行われます。
弊社が以前販売しておりました一部の船舶自動識別装置(AIS)への影響についてご案内いたします。

敬具

— 記 —

(1) 対象機種

- ・船舶自動識別装置 TRA-1000 全て
- ・船舶自動識別装置 TRA-2000 初期モデル(2007年2月以前の出荷品)

(2) うるう秒調整実施による影響

船舶自動識別装置(AIS)は、内蔵GPS受信機のUTC時刻を使用して現在時刻を認識します。
弊社のTRA-1000およびTRA-2000初期モデルに内蔵のGPS受信機は、今回のうるう秒調整実施前の数ヶ月間、GPS衛星から放送される「うるう秒実施予告情報」を受信しますと、1秒遅れた時刻を認識しますが、機器の実運用上の影響はございませんので、現状のままご使用いただけます。
なお、2012年7月1日には、この「うるう秒実施予告情報」の放送が終了し、両モデルとも正しい時刻を自動的に認識します。

(3) 参考

「うるう秒」調整のお知らせ(独立行政法人 情報通信研究機構)
<http://www.nict.go.jp/press/2012/01/31-1.html>

以上